

●まちのできごと

2/22 感謝の気持ちを込めて

登龍中学校でプリザーブドフラワーなどのアレンジメントを手掛ける株式会社メリエンダの田宮よし枝さんを講師に招き、2年生がコサージュを手作りしました。

このコサージュは卒業する3年生へ贈られるもので、毎年この時期に制作しています。

生徒たちは、先輩への感謝の気持ちを込めてハサミやグルーガンなどを利用して、ピンクや紫色のバラに、リボンなどを付けていきました。

卒業生はこの花を胸につけて卒業式に臨みました。



▲細かな作業も丁寧に仕上げる

2/23 ジュニ文 ～発表会・修了式～

中央公民館で、ジュニア文化サークルの発表会と修了式が行われ、12サークルに所属する178人の児童たちが参加しました。

ロビーには『子ども彫り絵』や『子ども書道』などが作品を展示し、ステージでは『こども茶道』や『子ども水郷太鼓』など全てのサークルが1年間の活動の成果を発表しました。

発表を終えた児童たちは、みんな自信に満ちあふれた表情で、それぞれのサークルに分かれて修了式を行い、1年の活動を締めくくりました。



▲工夫や今までの思い出を発表しました（子ども絵画）

2/25 より多くの麦が実るように

牧小学校児童が農事組合法人クリーンファーム・まきの協力のもと麦踏み体験を行いました。

麦踏みは、伝統農法の1つで、踏まれることで土と根が密着し生育がよくなったり、分けつ（新しい芽が伸びてくること）が促進されることで、より多くの麦がとれるようになります。

児童たちは横一列に肩を組んで声をかけ合いながら、歩幅を小さくして丁寧に麦踏みをしました。

また、鬼ごっこもして駆け回りながら麦を踏みました。



▲肩を組んで、息を合わせながら

2/26 仕事のやりがいや目標は

東安中学校で、2回目となる東安中学校組合管理者と語る会が行われました。

この会は同中学校の2年生が組合管理者である堀町長に、仕事内容などを質問する会です。生徒たちは、町長の仕事のやりがいや目標、大切にしていることなどについて質問をしました。

町長の話聞いた生徒は、「今まであまり自分の将来について考えてこなかったけど、真剣に考えてみようと思いました」と話してくれました。



▲堀町長に質問する生徒